

initiative

株式会社インターネットイニシアティブ 2006年3月期 第3四半期連結業績説明会

Internet Initiative Japan Inc.

2006.2.10



Internet Initiative Japan

注意事項：本資料における2005年3月期第1四半期から第3四半期までの連結決算情報については、2005年4月11日付プレスリリースにて既報の決算修正を反映した数値としています。

事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) あらゆる事象を要因とするサービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下、
- 3) 役務提供に必要なバックボーン回線、外注費等の調達要領及びコストの変化、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 業績の四半期毎の季節変動の増大、
- 6) 保有株式の時価の変動による経営成績及び財務状況への影響、

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

2006年3月期 第3四半期 連結実績の総括

2006年3月期 第1～第3四半期 累計 (2005/4～12)

- 当社グループの主要顧客である大手企業や官公庁向けのアウトソーシングが中間期に引き続き順調に推移し、継続的な利益増加基調を維持した結果、増収増益
- 営業収益(売上高)は 336.8億円 (前年同期比 14.4%増)
-内、アウトソーシング売上は 155.5億円 (前年同期比 34.5%増)
- 営業利益は14.4億円(前年同期比 144.1%増)
- 第3四半期純利益は28.1億円(前年同期比 332.2%増)

2006年3月期 第3四半期 (2005/10～12)

- 収益性の高いシステムインテグレーションの運用売上、付加価値サービス及びその他の売上が好調に推移した結果、前年同期比増収増益
- 営業収益(売上高)は 118.7億円 (前年同期比 15.7%増)
-内、アウトソーシング売上は 54.3億円 (前年同期比 21.9%増)
- 営業利益は 6.9億円 (前年同期比 68.4%増)
- 第3四半期純利益は11.9億円 (前年同期比 80.3%増)

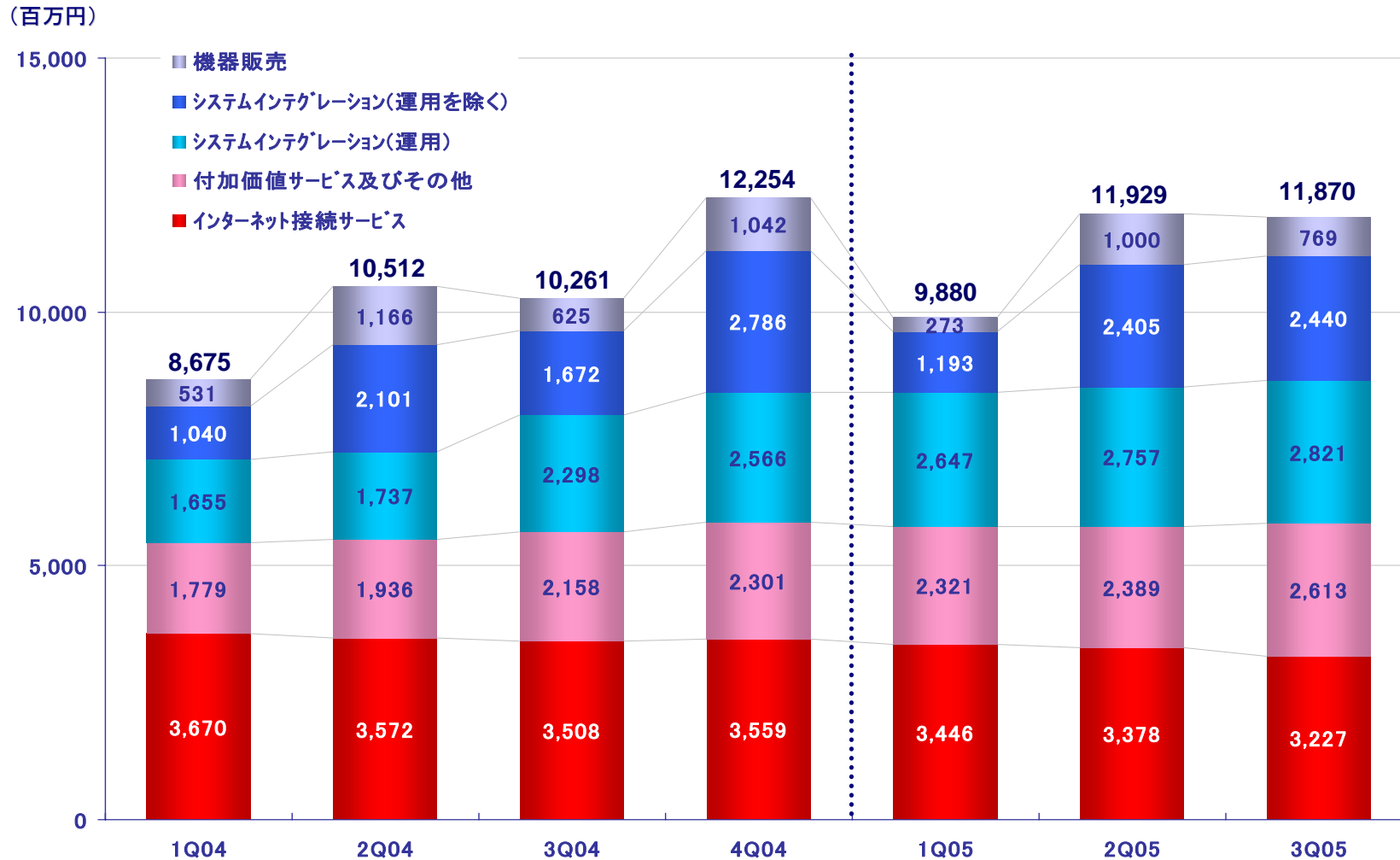
2006年3月期 第3四半期(9ヶ月累計) 連結実績

	2006年3月期第3四半期累計 (2005/4-12)		2005年3月期第3四半期累計 (2004/4-12)		前年同期比
	実績	売上高比	実績	売上高比	
営業収益 (売上高)	336.8億円	100.0%	294.5億円	100.0%	114.4%
売上原価	276.4億円	82.1%	247.8億円	84.2%	111.5%
売上総利益	60.4億円	17.9%	46.7億円	15.8%	129.4%
販売管理費等	45.9億円	13.6%	40.7億円	13.8%	112.7%
営業利益	14.4億円	4.3%	5.9億円	2.0%	244.1%
第3四半期純利益	28.1億円	8.3%	6.5億円	2.2%	432.2%

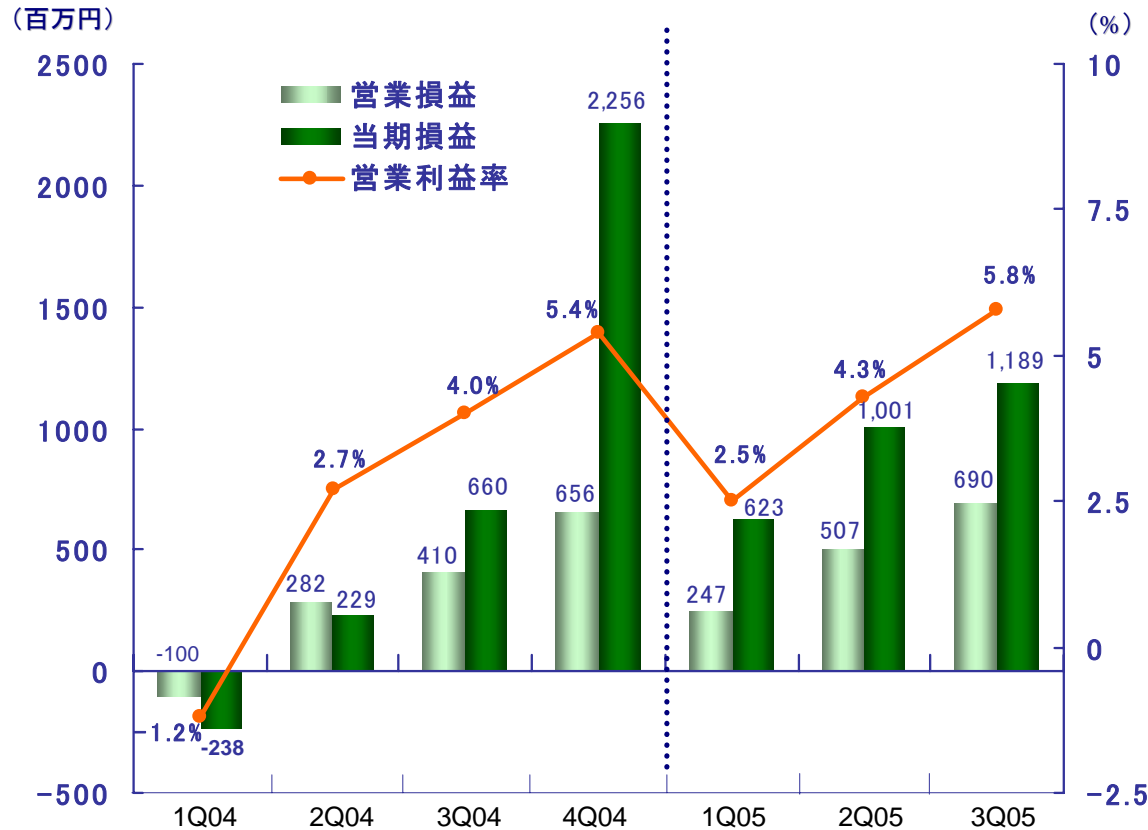
2006年3月期 第3四半期(3ヶ月) 連結実績

	2006年3月期第3四半期 (2005/10-12)		2005年3月期第3四半期 (2004/10-12)		前年同期比
	実績	売上高比	実績	売上高比	
営業収益 (売上高)	118.7億円	100.0%	102.6億円	100.0%	115.7%
売上原価	96.5億円	81.3%	84.9億円	82.7%	113.7%
売上総利益	22.2億円	18.7%	17.8億円	17.3%	124.9%
販売管理費等	15.3億円	12.9%	13.7億円	13.3%	111.9%
営業利益	6.9億円	5.8%	4.1億円	4.0%	168.4%
第3四半期純利益	11.9億円	10.0%	6.6億円	6.4%	180.3%

連結営業収益(売上高)四半期推移



連結利益四半期推移



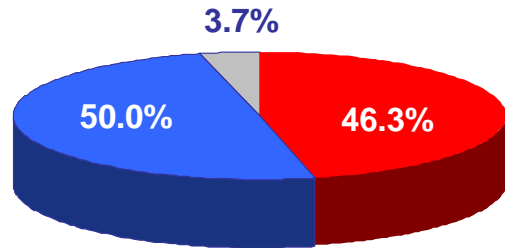
収益性の高い付加価値サービスやシステムインテグレーション売上高の増加による、売上総利益率の改善及び有価証券売却益により、前年同期比、前四半期比共に増益となりました。

【営業利益】 :前年同期比 **68.4%増**、前四半期比 **36.2%増**

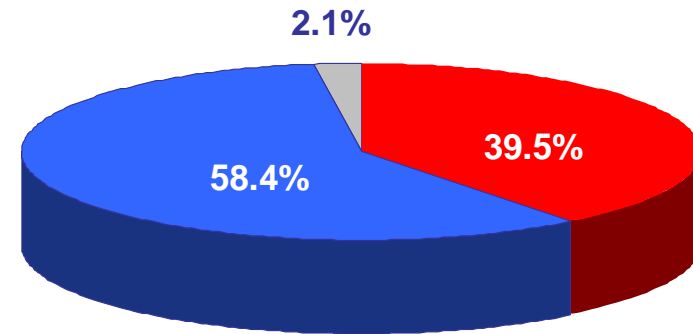
【第3四半期純利益】 :前年同期比 **80.3%増**、前四半期比 **18.8%増**

連結売上総利益推移

2005年3月期 第3四半期 (9ヶ月累計)



2006年3月期 第3四半期 (9ヶ月累計)



- インターネット接続及び付加価値サービス
- システムインテグレーション
- 機器販売

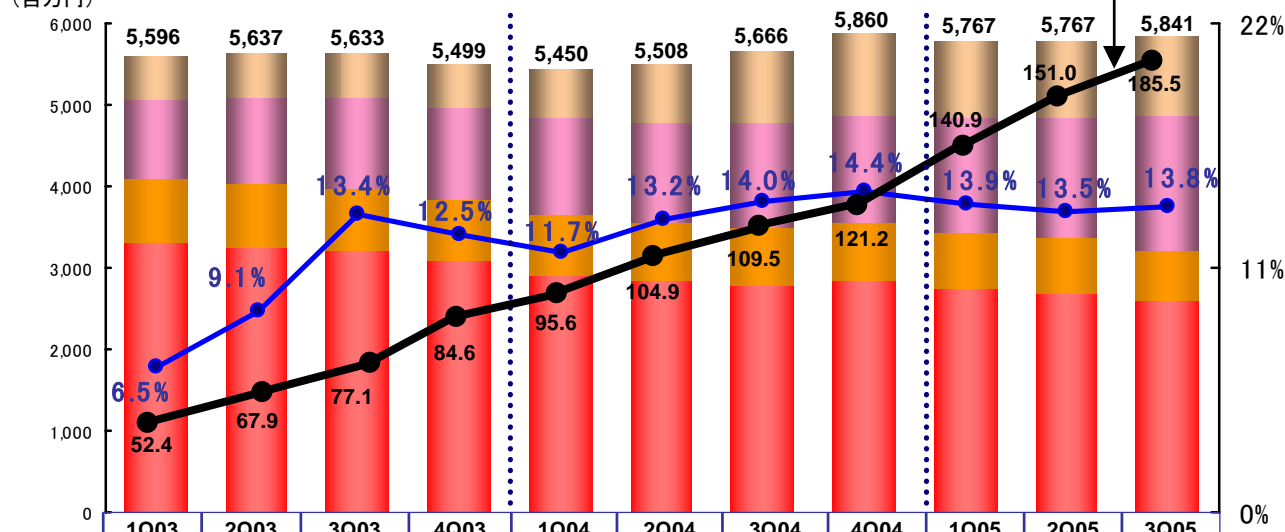
	2005年3月期 第3四半期 (9ヶ月累計)	構成比	2006年3月期 第3四半期 (9ヶ月累計)	構成比
インターネット接続及び付加価値サービス	2,158	46.3%	2,387	39.5%
システムインテグレーション	2,332	50.0%	3,523	58.4%
機器販売	175	3.7%	126	2.1%
合計	4,665	—	6,036	—

(単位: 百万円)

各サービスの概況 連結四半期推移

インターネット接続及び付加価値サービス

＜営業収益(売上高)・売上総利益率推移＞



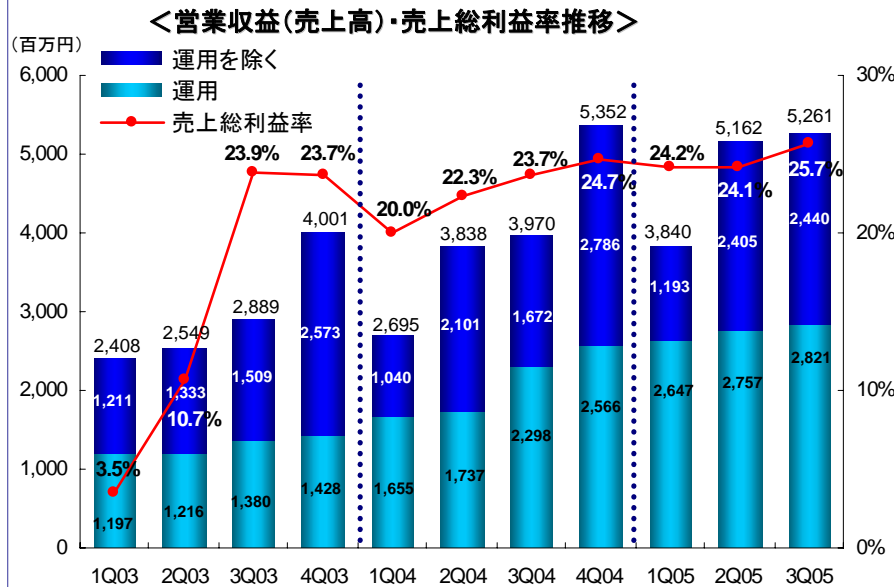
営業収益(売上高) (百万円)	1Q03	2Q03	3Q03	4Q03	1Q04	2Q04	3Q04	4Q04	1Q05	2Q05	3Q05
専用線接続サービス	3,321	3,236	3,204	3,100	2,918	2,832	2,781	2,841	2,747	2,695	2,580
ダイヤルアップ接続サービス	767	784	780	758	752	740	727	718	699	682	648
付加価値サービス	987	1,081	1,125	1,104	1,187	1,220	1,276	1,322	1,388	1,459	1,649
その他	520	536	525	537	592	716	882	979	933	930	964
売上総利益率(%)	6.5	9.1	13.4	12.5	11.7	13.2	14.0	14.4	13.9	13.5	13.8

- 専用線接続サービス
広帯域サービスへの移行、多拠点接続案件の好調に伴うブロードバンド型サービス契約数の増加の一方、IIJグループの再編に伴う売上減少(△2.3億円)を差し引くと、前四半期比増収
- ダイヤルアップ型接続サービス
IIJ4U等の個人向けサービスの売上が減少基調 (前年同期比 10.9%減)
- ◆ 専用線接続契約数 **13,724回線**
(前年同期比+4,297回線、45.6%増、前四半期比+1,022回線、8.0%増)
- ◆ 契約総帯域 **185.5Gbps**
(前年同期比+76.0Gbps、前四半期比+34.5Gbps)

- 付加価値サービス
データセンターサービス、セキュリティサービス、迷惑メール対策等のメールソリューション、多拠点接続案件に伴うSEIL,SMF等のネットワークアウトソーシング等が順調に推移し増収 (前年同期比 29.2%増)
- その他サービス
広域イーサネットサービス販売が順調に推移し、大幅増収 (前年同期比 9.3%増)

各サービスの概況 連結四半期推移

システムインテグレーション(SI)

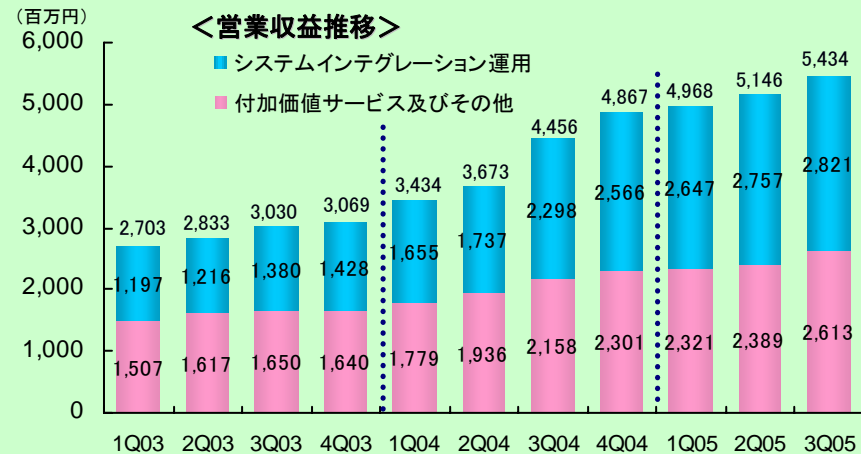


- 設計、構築等のシステムインテグレーション(一時構築)が増収 (前年同期比 **46.0%増**)
- 収益性の高い恒常売上であるシステム運用アウトソーシングサービスの売上が、引続き増加 (前年同期比 **22.8%増**)
- 売上総利益率は、前年同期23.7%から2ポイントアップし、**25.7%**となりました。

アウトソーシング

「システムインテグレーション運用」+「付加価値サービス及びその他」

- 収益性の高い恒常的な売上であるアウトソーシング売上は、引続き順調に推移
- 3Q05のアウトソーシング売上は **5,434百万円** と前年同期比 **+21.9%増**



2006年3月期 第3四半期連結B/S・CF等の状況

(単位:百万円)

<B/S主要項目>

	2005年12月末	2005年3月末	増減
現金、預金及び 現金同等物	12,920	5,286	7,634
売却可能 有価証券	7,528	8,948	△1,420
銀行借入 (長期、短期)	8,560	8,991	△431
資本金	16,834	13,765	3,069
資本準備金	26,599	23,638	2,961
欠損金	△31,622	△34,434	2,812
その他包括利益 累計	7,323	8,690	△1,367
資本合計	19,050	11,615	7,435

<CF主要項目>

	2005年4-12月	2004年4-12月	増減
営業活動CF	3,948	2,697	1,251
投資活動CF	971	127	844
財務活動CF	2,685	△2,969	5,654
期末残高	12,920	12,159	761

2006年3月期 第3四半期 その他の連結財務指標の状況

(単位：百万円)

	2005年10-12月	2004年10-12月	増減
C A P E X	1,697	2,017	△15.9%
減 価 償 却	1,060	1,116	△5.1%
Adjusted EBITDA	1,751	1,508	16.1%

2006年3月期通期 連結業績見通し

- ・第3四半期に引き続き、アウトソーシングサービス及びシステムインテグレーション案件が引き続き好調に推移することが見込まれることから、営業収益(売上高)を480億円と、中間決算発表時に発表した数値より**3.6%増加**する見通しです。
- ・当期純利益は株式市場の活況による保有株式価値の増加に伴い、有価証券売却益の増加が見込まれることから、中間決算発表時に発表した数値から**18.9%増加**する見通しです。

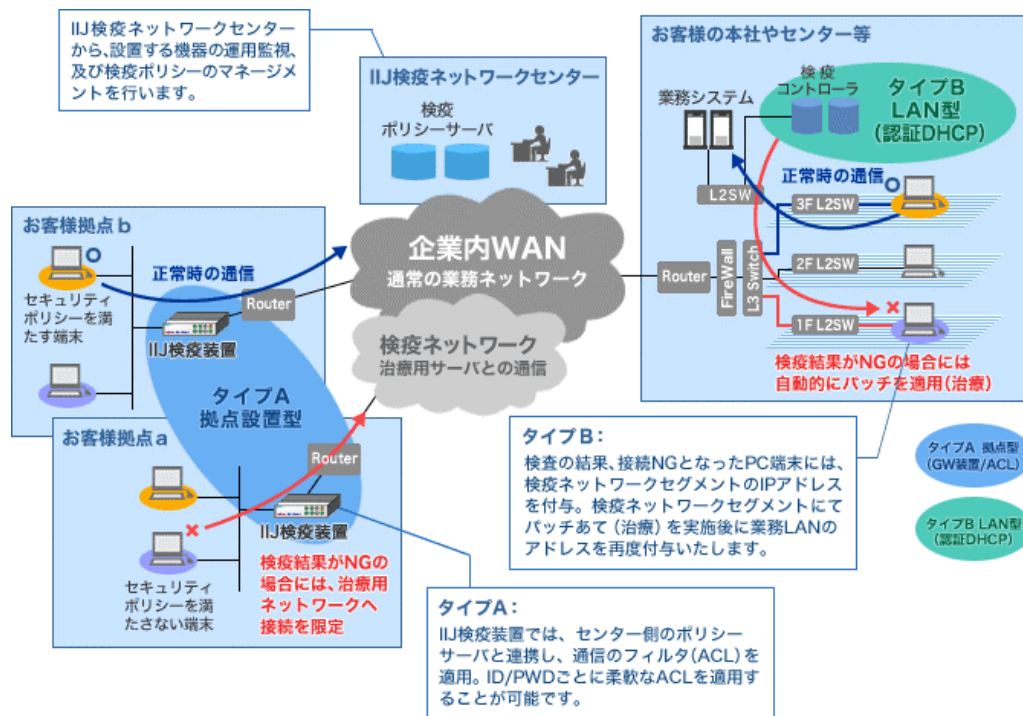
(単位:百万円)	2006年3月期(2005/4~2006/3)見通し			2005年3月期 (2004/4~2005/3) 通期実績	対前年度比
	前回発表	今回発表	増減率		
営業収益 (売上高)	46,330	48,000	3.6%	41,703	115.1%
営業利益	2,320	2,320	—	1,248	185.9%
税引前当期利益	3,990	4,800	20.3%	3,149	152.5%
当期純利益	3,700	4,400	18.9%	2,906	151.4%

トピック

「IIJ検疫ネットワークソリューション」を提供開始

セキュリティ対策が不十分なPCをネットワーク側で自動的に検知し、隔離・対策を行うことによって、セキュアな社内LAN環境を実現する「IIJ検疫ネットワークソリューション*」を2005年11月8日より提供開始。

《 IIJ検疫ネットワークソリューション利用イメージ 》



《 主な特徴 》

- 不正なPCを社内ネットワークから排除し、高いセキュリティレベルを確保
- 業界初のセキュリティパッチ自動適用機能により、検査、隔離、治療、排除までをトータルに実施
- 既存のネットワーク構成を大きく変更することなく、容易に検疫機能の導入が可能
- 24時間365日の運用監視、ポリシーデータベースの更新を実施

*【検疫ネットワーク】:

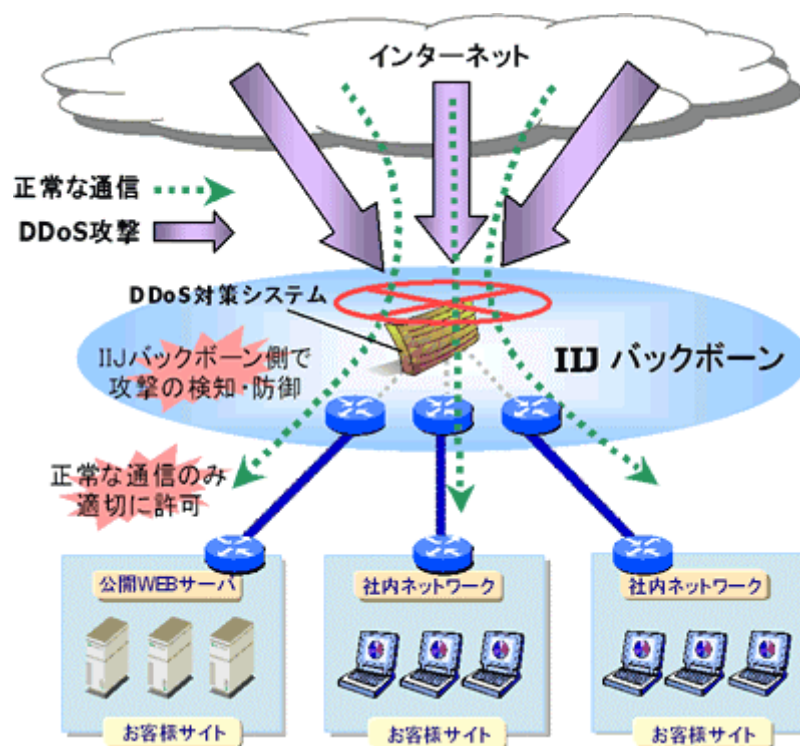
企業内LANに接続されたPCが、ウイルスやワームに感染していたり、最新のセキュリティパッチが適用されていない場合に自動的に検知し、社内のサーバや他のPCとは通信できない全く別のネットワークに強制的に隔離して、治療、排除などの対策を実施する仕組み

トピック

「IIJ DDoS対策サービス」を開始

不正アクセス手法の一つである分散サービス妨害攻撃(DDoS攻撃*)の検知・対策を行い、お客様のサーバとネットワークをDDoS攻撃から守る「IIJ DDoS対策サービス」を、2005年12月より提供開始。

《 サービス提供イメージ図 》



《主な特徴》

- バックボーン上にDDoS対策システムを設置することで、インターネット回線を含めた防御を実施
- 統計的な情報を元にしたアノマリ検知により、通常では予測が難しい攻撃への耐性を強化
- HTTPプロトコルベースの保護機能以外に、通常利用しないプロトコルに対する帯域制御やアクセス制御機能を提供することで、Webサーバ以外のリソースも防御可能
- 従来のファイアウォールやIDSと併用することにより、よりセキュアなネットワーク環境を実現

*【DDoS攻撃】:

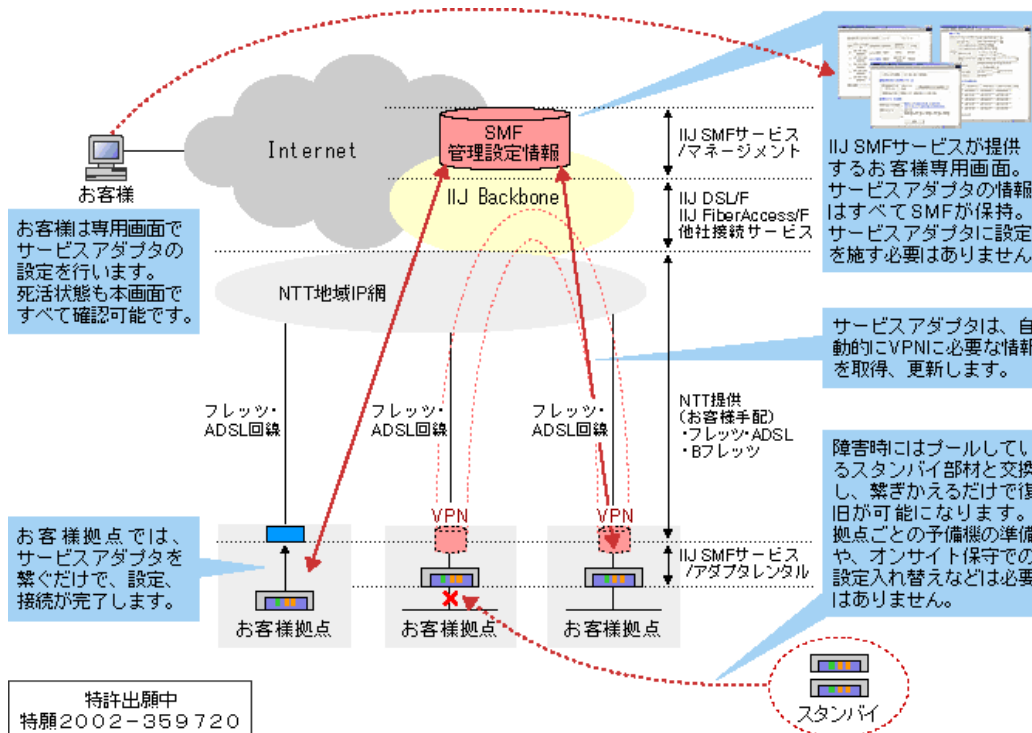
ネットワークに分散している複数のパソコンやサーバから、特定の宛先に対して一斉に大量の通信を行い、標的となったサーバやネットワークに大きな負荷を与えることで、機能を麻痺させてサービスを利用不能にする攻撃

トピック

「SMF」及び「IIJ SMFサービス」のOEM提供の拡大

沖電気工業株式会社様への「SMF」技術の提供、NTTコミュニケーションズ株式会社様への、「IIJ SMFサービス*」のOEM提供を開始。沖電気工業様は「BB MediaRouter」の機能の一部として、NTTコミュニケーションズ様はOCNインターネットVPNサービスの新ラインナップである「OCN-SMFサービス」として採用。

《 IIJ SMFサービスを利用したVPN 》



《主な特徴》

- ネットワークに繋げるだけで各種機能を自動的に設定するゼロ・コンフィグレーション
- 必要な機能の追加・削除をネットワーク上で可能とするプッシュ型配信
- 通信機器の常時監視・運用を可能とするネットワーク自動監視
- 上記の機能により、エンジニアリング工数を大幅に削減し、コストダウンを可能に

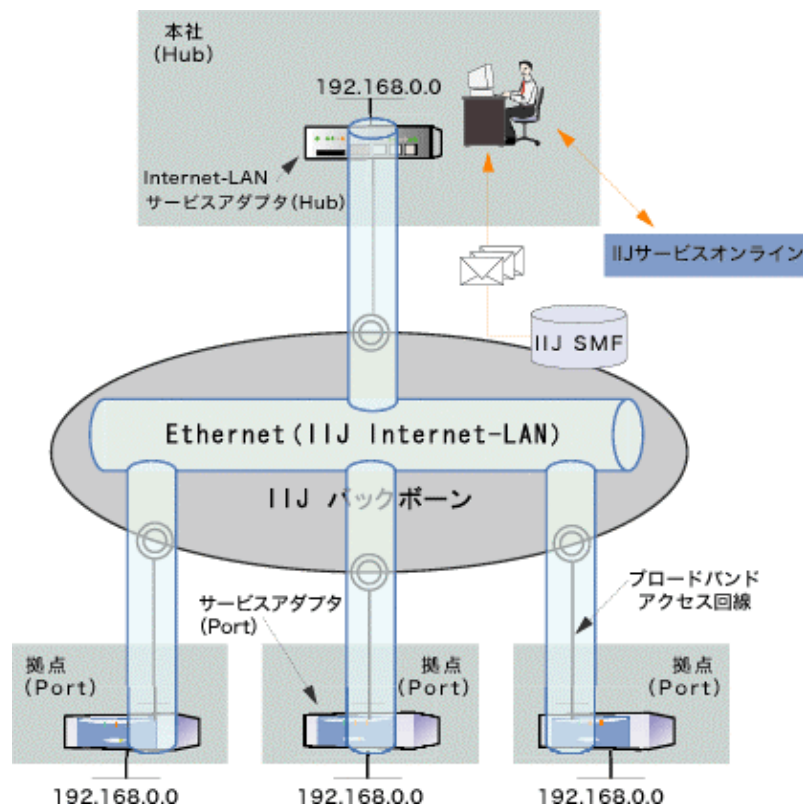
*【IIJ SMFサービス】：

ネットワークの設定・運用・管理・保守までを一元管理し、簡便にするサービス。クライアントは、各拠点にてインターネット回線をIIJの自社開発ルータ「SEIL(ザイル)」に差込み、電源を入れるだけで、VPNの設定などネットワークの各種設定が自動的に完了する。また、専用のWeb画面で全拠点の「SEIL」を一元管理できるため、これまで、機器の入れ替えやネットワーク機能を変更する度に生じていた作業が激減し、且つネットワーク管理に掛かるコストを大幅に削減することが可能。

トピック 「IIJ Internet-LANサービス」を開始

NTT東西地域会社の提供するフレッツなどのブロードバンド・アクセス回線を利用して、低価格で広帯域かつ、メンテナンスフリーのイーサネットWAN環境を実現する「IIJ Internet-LANサービス*」を、2005年10月11日より提供開始。

《ネットワーク構築イメージ》



《主な特徴》

- サービス・アダプタを接続するだけで、手軽に広域イーサネットWAN環境を構築
- 低価格なブロードバンド・アクセス回線が利用可能
- L2TPv3、IPsecによる暗号化通信に加え、独自のSMF技術により高いセキュリティを確保
- トラフィックモニタやメールによる障害通知を標準提供
- サービスドライバによる、2時間以内の駆けつけ機器交換作業を実施

*【IIJ Internet-LANサービス】：

IIJのインターネットバックボーン上にクライアント専用の仮想的なイーサネット空間を形成することで、全国の複数拠点間において従来の企業内LANと同様のセキュアなプライベートネットワーク環境を提供するサービス。クライアントは、アクセス回線にADSLやFTTH回線を利用することで、低価格なブロードバンド・イーサネットWANを容易に構築することが可能。

トピック

コナミと総合ポータルサイトの運営を行う合併会社を設立

コナミのデジタルエンタテインメント分野におけるコンテンツ制作のノウハウと、IIJが培ってきた信頼性の高いシステム構築技術、ネットワーク運用技術を融合し、ポータルサイトの運営を行う、株式会社インターネットレボリューション(アイレボ)を設立しました。

《会社概要》

i-revo

商号：株式会社インターネットレボリューション

会社設立日：2006年2月1日

本店所在地：東京都港区六本木6丁目10番1号(六本木ヒルズ)

資本金：1,250百万円

出資額：2,500百万円(IIJ出資額：750百万円)

出資比率：コナミ70%、IIJ30%

※当該合併会社は、コナミの連結子会社、IIJの持分法適用関連会社となります。

事業内容：インターネットポータルサイトの運営

取締役：

代表取締役社長 高橋 一也 (コナミ オンラインカンパニー プレジデント)

取締役 長岡 浩 (コナミ オンラインカンパニー 統括マネージャー)

取締役 谷口 崇 (IIJ 技術本部 システム技術部長)

取締役(非常勤) 玉井 昭 (コナミ 執行役員 財務本部長)

取締役(非常勤) 保条 英司 (IIJ 常務取締役 営業本部長)

《サービス概要》

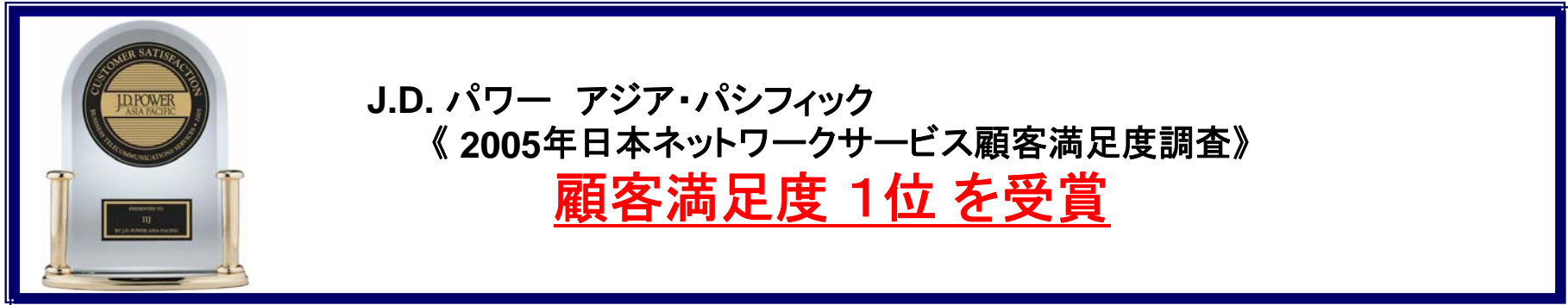
名称：i-revo (アイレボ)

開始時期：2006年3月中旬(予定)

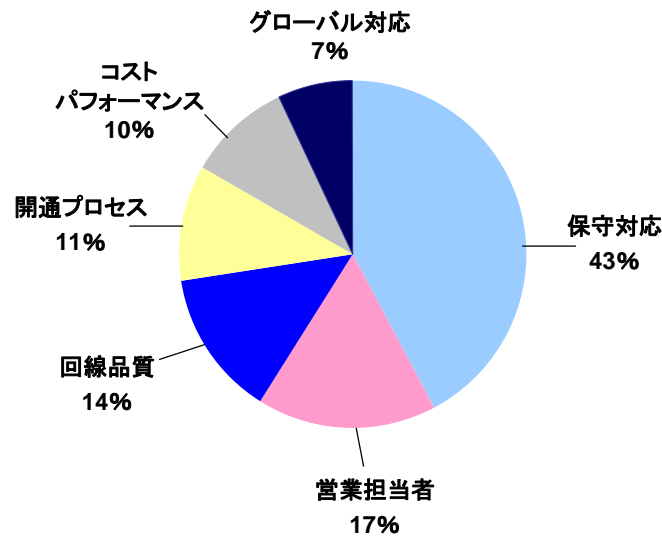
内容：新コミュニケーションサービス
インターネット接続サービス
音楽・映像配信
ゲーム配信
検索サービス
情報提供サービス
e-コマース

トピック

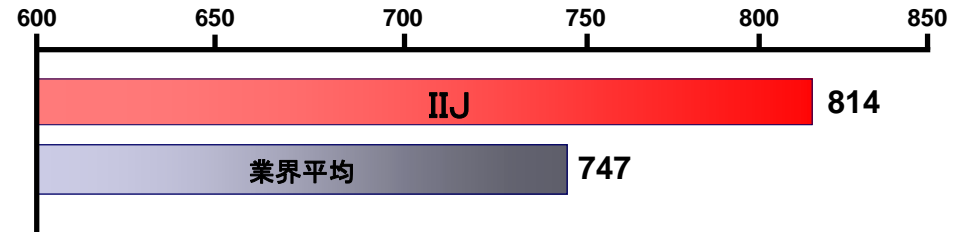
ネットワークサービスの顧客満足度で第1位を受賞



《 総合満足度を構成する6つのファクターとその重要度 》



《 顧客満足度スコア 》



- 総合満足度スコア(1,000ポイント満点で算出した満足度指数)は814ポイントを獲得(業界平均:747ポイント)
- 調査では「保守対応」、「営業担当者」、「回線品質」、「開通プロセス」、「コストパフォーマンス」、「グローバル対応」の6つのファクターから顧客満足度を算出し、その結果、IIJが総合的に最も高い評価を得ました。

出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2005年日本ネットワークサービス顧客満足度調査SM。従業員100名以上の企業2,992社からのネットワークサービスを企業に提供する通信事業者に関する回答による(1社につき最大2通信事業者まで回答してもらったため回答数は5,309件)。 www.jdpower.co.jp

トピック

主要なプレスリリース一覧

発表日	件名
2006/1/30	NTT Comに「IIJ SMFサービス」をOEM提供 - OCNがIIJの独自技術を採用し、「OCN-SMFサービス」として提供開始 -
2006/1/19	コナミとIIJ、総合ポータルサイトの運営を行う合併会社を設立 - 株式会社インターネットレボリューション(i-revo (アイレボ))の設立について合意 -
2006/1/11	仮想広域イーサネットを利用してインプレスの社内ネットワークを安価で手軽に冗長化 - L2TPv3を応用し10分の1以下のコストで基幹レイヤ2ネットワークの冗長化を実現 -
2005/11/21	IIJ-Tech、将来の日本版SOX法対応に向けた情報管理・監査・ストレージ基盤ソリューション「Audit Structure」の提供開始 - 国内初、必要な対策をセミオーダーできる内部統制対策強化基盤 -
2005/11/8	「IIJ検疫ネットワークソリューション」を提供開始 - 検査から隔離、治療、排除までをトータルに実現する業界初の検疫ソリューションを提供 -
2005/10/27	「IIJ DDoS対策サービス」を開始 - 大規模な攻撃から企業のネットワークシステムを安全に防御するDDoS対策サービスを提供開始 -
2005/10/14	沖電気のホームゲートウェイ向けプラットフォームにSMF技術を提供 - 沖電気のホームネットワークサービス向けプラットフォーム「BB MediaRouter」にSMFのゼロ・コンフィグレーション機能を提供 -